

第2回更生保護施設処遇力強化研修

1 日 時

ア 座学研修（講義動画）

グループワーク研修受講日までオンラインストレージサービスで共有する講義動画を研修員各自でアクセスして視聴。

イ グループワーク研修（参集）

令和7年3月5日（水）10時から15時まで

2 場 所（グループワーク）

更生保護会館4階 大会議室

3 研修員

既に特定補導（A群）を実施している又は特定補導（A群）の実施を希望する更生保護施設に勤務する職員のうち、法務省保護局長が研修員として認めた者 （20施設） 26名

4 概 要

法務省保護局及び全国更生保護法人連盟の共催により、更生保護施設職員を対象に、特定補導（A群）の実施に当たって必要な認知行動療法及び認知行動療法に基づくプログラムに関する基礎的な知識及び技術を修得させ、専門的な処遇力の向上を図ることを目的として実施された。

第1回と同様に座学研修では、①保護局更生保護事業係長による「更生保護施設における特定補導の実施について」、②北里大学医療衛生学部野村和孝准教授による「認知行動療法の基礎」の講義動画が配信され、研修員各自でアクセスして視聴された。講義内容等は、第1回と同じ。

※更生保護施設処遇力強化研修（座学）の講義動画（グーグルドライブにて配信）

リンク：https://drive.google.com/drive/folders/19Ej4TvZ0tUI3bTi_Ld12CUk7tybMfJZX

QRコード ⇒



（注）全更連会報No. 156 32ページのタイムスケジュール参照のこと。

【グループワーク研修】

グループワーク研修では、上記日時に更生保護会館4階 大会議室に参集し、南元更生保護振興課長の挨拶後、座学研修の講師も務めていただいた野村准教授を招いて、研修員を4人一組のグループに分けて研修を実施した。第1回と同様に、講義動画に関する研修員からの質問に対する打ち返しの後、認知行動療法の実践として、講師による模擬セッションやスライド資料の解説を織り交ぜながら「見立てと介入」「基本となる面接技法」「機能分析」「グループワーク」について、ケースの見立てやプログラム実施時の留意点、傾聴など講義を受けたほか、研修員は、グループ内でのリーダーとコ・リーダーの「機能的役割分担」、ワークシート（シナリオ）を用いた演習など体験的なグループワークを通して、認知行動療法のポイントを学習した。グループワーク終了後、全国更生保護法人連盟稲葉常務理事（事務局長）が修了式の挨拶を行い、研修会を終了した。



○ 南元課長挨拶



○ 野村講師



○ 稲葉常務理事挨拶

※研修員からの感想、意見概要（振り返りシート・抜粋）

I 座学講義について～感想

- ・ 認知行動療法等については、これまで全く知識がありませんでしたが、受講して対象者の処遇改善に対する重要性を理解しました。厳しい言葉で指導するのではなく、常にいろいろな角度から問題点を捉える必要性を感じました。
- ・ 認知行動療法によって、本人を否定するのではなくその背景に何があるかを一緒に模索していることが大切であることを学ぶことができた。薬物やお酒、ギャンブルによってそれが起きるきっかけも様々である。その状況がどんな状況下で起きているかやそのときの気持ちなど複合的な要素が絡み合っ嗜癖を生み出しているため、それを支援者として一緒に立場で考えているようにしていきたい。
- ・ 普段行っているA群プログラムにおいても、薬物をやめたいけど、目の前に出されたら使用してしまうかも知れない、と言う者が多くいて、何だかなあと思っていたが、「薬物を使用したい気持ち」と「薬物をやめたい気持ち」の両方を認めてあげていいと、改めて認識しました。
- ・ アデクションを持つ対象者に対して治療契約として①施設としてできることできないことを明確にする②治療契約が破られた時の対応を先に決める③危機的な状況に陥った時の連絡先と対処方法を先に決める④情報開示の基準を明確にする⑤漠然と対処するのではなく何か起きた時の対処方法を決めて情報の共有することの大切さを改めて感じた。
- ・ 対話スキルの習得が必要であると実感した。対象者の言動等で直ぐに間違いを正したり、自らの常識や意見を押し付け論争にならないよう、まずは相手の意見を十分に引き出した後で、こちらの意見を伝えるようにする。何より対話スキルを高めるためには、対象者との信頼関係の構築が必要である。

・認知行動療法の考え方で対処することの重要性を認識した。講義では、薬物使用や覗き見を例に挙げてのラプラス・プリベンションモデルや行動的アプローチの説明で、認知行動療法的な指導のイロハがよく分かりました。また、行動のメリット、デメリットが、支援者と本人とでは真逆との説明は、大変参考になりました。

・認知力を深め、併せて理解力を深めるためには、問題意識を高めて行くことが大事である点、また、依存性についても理解を深めるため、対象者の性格や行動様式の問題点の理解に努め、互いのコミュニケーションを高め、かつ働きかけの大切さが分かりました。

・認知行動療法の面接について、細かく知ることができた。共感的理解と客観的理解があることや、対象者の話を聞くときはまずは話を聞くこと、提案については否定的な内容にもなりがちなので、後からすること等、学ぶ点が多かったと感じる。また、リラプス・プリベンションという考え方、ラプスが起きた時の対応など、具体的でわかりやすい内容でとてもよかった。

・認知行動療法の面接の仕方や今後の対策について学ぶことができたことは、とてもいい機会でした。個人としては難しい用語が多いと感じ、理解するのに苦労しましたが、対象者が置かれている立場や対象者の考え方に目を向けることが大切だと思いました。

・座学研修を受けて、認知行動療法についての基本的な考え方、被保護者への処遇について、問題行動へのアプローチの仕方など実際の処遇において活かすことができることについて学んだ。その中でも被保護者が、目標を達成することが終結ではなく、達成する方法を身に付けていくことが、終結となることが大切であると感じた。

・『見立て』とか『介入』とか普段、聞き慣れない言葉が多くて、戸惑いましたが、大変、勉強になりました。窃盗症であったり、嗜癖と依存の違い等々、今まで知らなかったことを学びました。指導、教育ではなく、良き相談者になることが大切であると強く、思いました。

・問題行動が続いている原因に目を向けること、見立てるための基本は問題行動となる認知を協力し仲間として検討すること、誘導による発見法として対象者にどうすれば最も良い方法があるだろうか質問しながら共感し対象者から導き出すように行うことなど学ぶことができました。

II グループワーク研修について～感想

・中身の濃い研修でしたが、もう少し時間があればと感じました。また、理解するには自分でも知識を得ないとならないと、つくづく思いました。

・自分のことを改めて見つめ直すことができ、実際に業務でも活かせる学びとなりました。

・グループ討議の時間をもう少し欲しかったです。また、一定の時間経過後、他のテーブルの方とメンバーチェンジするのも良いかなと思いました。

・グループに分かれての研修は、こじんまりとしていて、意見が言い易いし聞きやすい。各施設の方と知り合いとなり、情報交換ができて良かった。野村先生の言葉で印象に残ったのは、「面接時に職員は演技切ってください」「皆さんのキャラを変えることはありません。視野を広げて見なければいいんです。」この言葉で、今後仕事をやって行く上で気持ちが楽になりました。

・対象者の矛盾を含んだ言動に対し、直ぐに誤りを指摘したり反論してしまいがちだが、まず、傾聴し、受容・共感することで相手の考えや感情を理解しようと努めることが大切であり、これを実践していきたいと思いました。

・とても丁寧な講義で、具体性をもって学ぶことができ、参加させていただきとても良かったです。自己紹介の時間を作ってくださいたり、こういう内容を話してみてくださいと具体的に提示してくださいたり、和やかな雰囲気ではじめられたのがとても良かったです。他施設の方ともお話ができ、大変有意義な研修でした。

・座学でインプットした知識をアウトプットする機会となる研修でした。しかし、座学の自習と本グループワーク研修に参加するだけで特定補導A群がこなせるようになるかといえば、個人的には

不安が残るところでした。

- ・特定補導の取組に当たり、中でも初めてA群を指導する施設は、導入等について学ぶ点も多かったのではと思いました。

- ・事前学習の振り返りができてよかった。特に抑えるべき点についての解説や、実際にグループで面接をしてみる等があり、全体を通して勉強になりました。

- ・日頃の日常業務に直結する内容で実践的な場面設定でのワークを実施していただき大変参考になりました。

- ・ロールプレイを交えた面接場面の演習は、大変参考になった。対象者と支援者の役割を交代実践することで、多様な考え方と対象者の視点も浮き彫りとなり、すぐに日々の相談支援に活用できそうな手応えをつかみかけた気がします。

- ・グループワークでは、積極的に発言する方と控えめに発言する方の差が大きかったように感じました。リーダーの役割が重要に感じました

II 良かった点、改善を要する点～感想

- ・良かった点は事前学習ができたことと、それに基づく復習のようなことができたのが良かったです。この研修を保護司の方や保護観察官の方も含め、実際にその管轄している人たちとできると勉強になるなと感じました。

- ・座学もグループワークも非常に良い講義内容と感じました。もし可能であれば、グループワーク（GW）時の席を先生の講義をメモなどしながら受講したいので、正面を向いた配置としていただけるとありがたいです。また、全国から集まる良い機会なので、時間をもっととって、グループもシャッフルし、いろんな方と意見交換できればさらに良い研修になると感じました。

- ・一日での研修は理解するのに難しいと思いました。事前講座があるのも理解できるのですが、日々の業務に追われて座学もあまり耳に入りませんでした。次回この様な研修の機会を頂けるなら時間をかけて予習し望みたいと思います。

- ・座学研修を動画で受講することができ、聞き漏らしたり一度ではわからなかったところを戻って確認することができたので、とても良かったです。座学研修と演習とメリハリのある構成でとても良かったです。研修会場や名札作り、グループ構成等丁寧に設定して運営してくださっていることに感謝申し上げます。

- ・予算や時間的な事情でこうした形態にしているのだろうが、現実には百戦錬磨を相手に行う面接やプログラムなので、実質一日だけの研修では、今後の指導に自信をもって臨むことにはなかなかつながらないように感じた。

- ・視聴座学受講後集合研修の流れは非常に良かったと実感しています。視聴座学受講については自己のタイミングで聞き、理解不足があれば聞き直し、次の課題にスムーズに移行することができた。集合研修は講師と直接向き合い専門知識等の事例を聞き、質問もでき、先生からは様々な現状や事例を聞きグループでの各先生の様々な処遇指導スタイルに接して自己に取り入れるべきものも多くあり集合研修の良さを改めて感じました。

- ・勉強になりました。希望としては実際の面接の内容をビデオ等で観ることができたらもっと勉強になると感じました。

- ・講義ありがとうございました。1対1の実践が大変勉強になりました。講義内容、形式も満足しておりますが、実践の時間が多ければ戦力になると感じました。

- ・研修時間が、もう少し長ければ良かったかなと感じました。

- ・コロナ禍でオンライン研修が増えていますが、やはりオンライン研修より集合研修の方がいいなと改めて感じました。色々な研修が今回のように集合研修でできるようになってほしいです。